

痔の手術（ALTA療法:硬化療法）

入院治療計画書

ID：@PATIENTID

患者氏名：@PATIENTNAME 様

生年月日：@PATIENTBIRTH2（@PATIENTBIRTH）

病名：

入院科/病棟：@USERBELONGSECTION / @PATIENTWARD

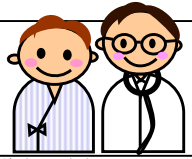
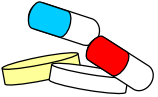
主治医：@主担当医 @

担当医：@担当医1

担当看護師 @担当看護師

主治医以外の担当者：薬剤師

管理栄養士

月/日	外来～手術前日		手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1病日（退院日）
経過（病日等）	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階を過ごすことができる。 ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる。		①術前準備について説明をうけ、安心して手術室へ出棟できる	①医療者の問いかけ、指示に従うことができる（深呼吸） ②痛みを訴えることができる。	①痛みを訴えることができる ②術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる。 ③痛みや腫れ、出血がなく、不安なく退院ができる。
達成目標					
治療・処置		○必要に応じて除毛を行います がんばりましょう！ 	○朝～点滴をはじめます ○手術着に着替えます 	○看護師が頻回に同い、体温や血圧測定などを行います ○手術後の点滴をします 	○朝、食事開始前に肛門部を確認します。著明な腫れ、出血、痛みがなければ、食事を開始します。 ○肛門部に軟膏を塗ります ○点滴は朝までで終了です。
検査	○胸部・腹部のレントゲン写真、血液検査、心電図などをします 				
内服	○お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください ○手術前日に下剤を内服します				○抗生剤を1日3回3日間内服します。（退院後飲みきりで終了） ○便を軟らかくする薬を内服します。 ○傷が痛い時は痛み止めを飲んで下さい
食事	○夕食までとれます ○飲水は自由です		○午前（ ）時まで飲水ができます 	○手術後は水分やプリンなどの軟かい食べ物は摂取可能です。 	○朝から全粥を開始します。 ○次回の外来受診時までは軟らかく消化のいいものを食べて下さい。 ○お酒は控えて下さい。
看護	○院内は自由です ○入浴またはシャワーができます ○トイレで排泄ができます			○麻酔の効果がなくなれば、トイレ、病棟内の歩行は可能です。（ふらつくことがあるので初回歩行は看護師を呼んでください。） ○痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。	
リハビリ					
説明・指導	○医師より、手術についての説明があります ○入院日程の説明があります ○看護師より入院生活について説明があります		○術前の準備、術後の状態、痛みのケア、安静、トイレ、清拭についてご説明します ○手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください ○ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください ○手術前にトイレを済ませておいてください	○担当医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります 	○退院後の生活についてご説明します ○次回の外来受診日についてご説明します

★ 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

高齢者総合評価の実施 ☐ 有 : ☐ 無

総合的な機能評価	基本的生活動作	☐ 問題なし	要精査または要経過観察
	日常生活動作	☐ 問題なし	
	認知機能	☐ 問題なし	
	気分・心理状態	☐ 問題なし	

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

@SYSDAT2

説明者：

説明を受けた人： 続柄（ ）

（代表者）

パス承認番号(No.13)承認年月日(2014年12月10日) <管理No.79>